

せいそう 労働者 速報

2024 年 11 月 13 日
No. 1220
東京清掃労働組合
企画・総務局

2024 年度賃金確定（第 3 回）専門委員会交渉を実施

「業務職給料表」「60 歳超の職員」の 賃金水準について厳しく追及

賃金確定第 3 回専門委員会交渉を 11 月 13 日（水）17：45 から実施し、低すぎる水準である業務職給料表、定年延長制度に関わる高齢期職員の賃金について厳しく追及しました。また、5 号転による号数調整、昇任選考の特例措置の延長についても協議しました。

日本一生計費が高い特別区技能労務職員の賃金が低すぎる

ラスパイレス指数の比較や総務省の調査が示しているのは、政令指定都市や全国平均に比べ、特別区の技能労務職員の賃金水準が低いということです。日本一生計費が高い特別区職員の賃金水準がこのような状況におかれていることについて厳しく追及するとともに、どう考えているのか質しました。

また、東京都時代に支給されていた「調整額」について、時代の変化とおかれている状況を主張し、特別区においても支給することを求めました。

行政系人事制度の改正の影響により業務職給料表の水準が引き下げられた

行政系人事制度の改正による歪みは特別区人事委員会勧告に影響し、行政職給料表と連動性がある業務職給料表についても不当に引き下げられました。これについてどのように認識しているか質すとともに、こういったことが起こらないよう、関係性の改善について追及しました。さらには統括技能長・技能長について、事務的な業務を主体としている点について言及し、行政職給料表をそのまま横引く妥当性を主張しました。また、清掃職員の独自給料表の構築も方策として訴えました。

高齢期職員の賃金制度は矛盾が起きている

定年年齢の引上げについては再任用賃金との関係性を繰り返し訴え、昇給抑制年齢を 2 歳引き上げることを勝ち取ったものの、いまだ多くの組合員が問題の解消には至っていません。この問題は、今後全員が関わってくる改善すべき大きな問題です。対象となっている職員数等を質すとともに、昨年より拡大していると

いう制度矛盾について厳しく追及し、改善を求めました。

5号転による転職に号給調整を行うことは不利益であり足枷となる

第2回専門委員会交渉において、5号転の上限年齢の撤廃を求めましたが、今回は給与上で不利益となる号給調整措置について廃止することを求めました。業務に身体的な不安を抱える組合員が安心して働き続けるため、転職の足枷となる号給調整は早急な改善が必要です。今賃金確定での解決にむけ、改めて検討を求めました。

昇任機会が少ない清掃職員にとって昇任選考の特例措置の延長は必要だ

技能主任職・技能長職昇任選考における特例の年齢要件の上限部分を引き上げる期間延長については、今年度で終了となります。これまでの成果についてどう考えているのか質すとともに、対象者・受験者がいる以上、継続するべきだと要求しました。

今回の専門委員会交渉では、主に賃金に関わる部分について協議しました。我われの賃金は、行政系人事制度改革の影響による大幅な引下げ、コロナ禍でも事業を止めないために奮闘してきたにもかかわらず改定なしや微々たる引上げ、そして、賃上げの機運が高まっている中での中高年齢層職員の低額引上げなど、もはや異常であると言わざるを得ません。区長会はこのことをしっかりと認識し、我われの要求に応えるべきです。

すべての課題解決は「魅力ある賃金・人事制度」の構築につながるため、今賃金確定期に方策として提示してきた考え方をしっかりと検討させる必要があります。総合的・抜本的な見直しによる清掃職員の処遇改善にむけ、最後まで闘い抜きましょう！